



瑞々しく若々しい
自然の生命力の色、青竹色。

CONTENTS

○ごあいさつ	3
○スルガ銀行の経営基盤	10
○平成27年度ハイライト	13
○リテール戦略とニューマーケットの創造	18
○d-labo(夢研究所)	21
○新たなマーケットの開拓へ	22
○「I DREAM」サッカーを通じて“夢”を応援	24
○「SURUGA ECO ACTION」わたしたちの未来のために	26
○CSRについて 社会・地域とのつながり	28
○リスク管理への取組み	31
○コンプライアンスへの取組み	32
○円滑な資金供給の取組み	34
○主要な業務の内容	36
○主要手数料	37
○主な商品の概要	38
○コーポレートガバナンス	42
○コーポレートデータ	44

○資料編	
業績の概況	55
連結財務データ	57
単体財務データ	79
自己資本の充実の状況	111
報酬等に関する開示事項	133
○個人情報保護法への対応	136
特定個人情報等の適正な取扱いについて	
○反社会的勢力に対する基本方針	137
利益相反管理の方針	
ソーシャルメディアポリシー	
○スルガ銀行のあゆみ	138
○スルガ銀行の情報開示	140

SURUGA bank Disclosure 2016

日本の豊かな自然から生まれ、日本人が受け継いできたかけがえのない文化である伝統色。四季折々の多彩な美しさを表わす日本の色と色名を重ねて、伝統を継承しながらも、より豊かで美しい新たな時代の創造を目指すスルガのおもいを表現しています。



日本の色、スルガの色。

紺青色、茜色、萌黄色、山吹色、琥珀色…。
日本には、日本ならではの独自の、
多彩な美しい色と、その色名があります。
それらのほとんどは、日本の風土と気候、
つまり日本の豊かな自然から生まれ、
日本人が受け継いできたかけがえのない文化です。
スルガ銀行は、昨年おかげさまで創業120周年を迎えました。
いつの時代も進取の精神を持って革新的であること、
ユニークであること、常に挑戦し続けること、夢をかたちにしていくこと…。
それらはどれもが私たちが受け継いできた
スルガ独自の伝統色であり、進化し続ける色なのです。
私たちは、これからも〈夢をかたちに〉する、
〈夢に日付を〉いれるお手伝いというミッションのもと、
コンシェルジュから、さらに一歩進んだ
みなさまの夢先案内人／ドリームナビゲーターへと進化してまいります。

会長 岡野 光喜



遙か海の向こうに、黄金色の夢があった。

目映いばかりの光を放つ金。
古来より、数ある貴金属の中でも
最も貴重なものとされてきました。
日本では中世から産出量が増え、
金と金箔、黄金色(こがねいろ)は、
権力や神仏の象徴となったのです。

かつて、欧州から遙か海を渡り、
東方の国々をめぐる旅に出た
イタリアの商人マルコ・ポーロをして、
“黄金の国、ジパング”と言わしめた日本。
彼は、黄金に光り輝く国に想いを馳せながら、
そこにどんな夢を見ていたのでしょうか。

心に秘めた夢。これから叶えたい夢…。
スルガ銀行は、ライフ アンド ビジネス ナビゲーターとして、
〈夢をかたちに〉する、〈夢に日付を〉いれる
お手伝いをしていきます。



霞色、それは日本人の雅の心を映す色。

紫がかったほんのりと微妙な
色合いで空にたなびく霞。
平安の頃より春をあらわす季語として、
多くの和歌に歌われてきました。
霞色(かすみいろ)は、日本人の
自然と生きる雅の心を映す色と言えます。

春夏秋冬、四季折々に移ろう美を奏でる、
豊かな自然に恵まれた日本列島。
かすかな色、微妙な色、ほのかな色。
日本人の色に対する繊細な感性は、
この国の自然が育んだものなのでしょう。
それは私たちのかけがえのない財産です。

変わらないもの、変わりゆくもの。
スルガ銀行は、常に進化し続けるDNAを受け継ぎながら、
温故知新の精神と挑戦への情熱を大切に、
未来に夢をつないでいきます。



人それぞれの夢、桜色に染まって。

日本人が愛してやまない、
日本を代表する花、桜。
ほんのりと淡いピンクは、
古くから桜色(さくらいろ)と呼ばれ、
季節を春に染めあげる色。
それは喜びに満ちた夢見心地の色です。

毎年、公園や名所で繰り広げられる
花見の宴は、日本の春の風物詩。
宴の賑わいを離れて、
お気に入りの桜並木をそぞろ歩き、
風雅を楽しむのも一興です。
人もそれぞれ、夢もそれぞれ…。

人と人。人と社会。日本と世界…。
スルガ銀行は、真に価値ある社会の創造を目指し、
一人ひとりの多彩な夢に寄り添う
夢先案内人でありたいと願っています。